

ロシアのウクライナ侵略
2022.2.24から4年



九条みなみそうま

「みなみそうま九条の会」会報 No.430

(旧・はらまち九条の会)

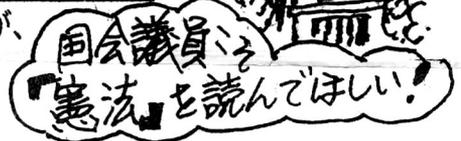
2026(令和8)年 2月24日(火)発行

- 「安倍首相は、日本国憲法をみっともない憲法と言いましたが、2012年の『自民党改正草案』こそ憲法と呼べる代物ではない。古色蒼然とした、近代憲法から逸脱した明治憲法以前です」
- 「改憲をめざす人々は近代憲法や立憲主義についても全く理解していない」 ●「自民党がもくろむ改憲は“壊憲”です」 (樋口陽一・小林節『「憲法改正」の真実』集英社より)

私たちは改憲には絶対反対です



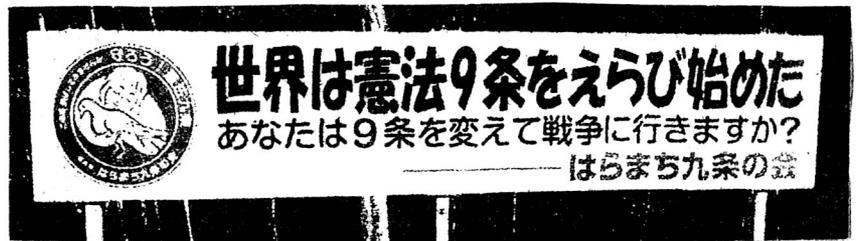
総選挙で圧勝した高市自民党は憲法改悪をめざすようですが、私たちは次のような理由で改憲には絶対反対です。



- 1.** そもそも「憲法」とは、国の有り様を定め、国家権力を制限し、国や政府の暴政から国民の権利と自由を守るものです。これを「立憲主義」といいます。一方、「法律」は国民が守らなければならないルールを定めたものです。改憲を目指す政治家たちは、この中学生でも知っている「立憲主義」を全く理解していません。
- 2.** 憲法第99条には「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」とあります。改憲を目指す政治家たちはこの条文をどう捉えているのでしょうか。自分たちもこの日本国憲法に守られ支えられてその立場にいます。国会議員たちは、謙虚に真摯に「日本国憲法」を読んだことがあるのでしょうか。また、大臣らが改憲を発議ができるかどうかは議論が分かれています。
- 3.** 2012年4月に発表した「自民党改憲草案」の4点について考えてみると
①第9条への「自衛隊」の明記 ②緊急事態条項の新設 ③教育の無償化 ④参議院選挙の合区解消 ①が改憲の本命ですが、2015年の「安保法制」で海外派兵が出来るので改憲は不要です。「自衛隊」明記で自衛隊員の誇りが深まるのでしょうか。②③④は、既存の法律で対応できると言われ、改憲のためのカムフラージュです。実は②緊急事態条項の新設こそが最も自民党が望むもので、緊急事態という名目で首相に権力をすべて集中させ、選挙を停止し国会議員の任期も無期延長にし、国民の自由制限の恐れもあり最も危険です。
- 4.** 「押し付け憲法」という人々は不勉強で、憲法研究会や鈴木安蔵を知りません。終戦直後に日本政府が作った松本憲法案はほとんど明治憲法と変わらず、GHQに拒否されます。一方、鈴木安蔵が中心になって起草した憲法研究会の「憲法草案要綱」は、自由民権運動やフランス人権宣言やアメリカ独立宣言などを踏まえて民主的で、GHQはそれを参考に憲法案を作り、日本政府に提示します。その後100日間をこえる国会審議を経て修正し、現在の「日本国憲法」が誕生します。「憲法は押し付け」という人は、憲法誕生の過程を学ぼうとせず不勉強です。
- 5.** 憲法第9条の「戦争放棄」は幣原喜重郎首相の発想です。1946年1月24日、幣原喜重郎は肺炎治療にGHQから贈られたペニシリンで快癒した御礼に、マッカーサーを訪ねます。会談の冒頭に幣原は、「新憲法で、日本は軍事機構を一切持たないと決めたい」と切り出し、マッカーサーは「腰が抜けるほど驚いた」と述べています。(『マッカーサー回想記』)

“自民圧勝”で改憲？ 噛みしめたいことは 自衛隊員に戦争をさせず、その命を守ってきたのは憲法9条です！

「政治の役割は二つ。国民を飢えさせないこと。安全な食べ物をたべさせること。そして絶対に戦争をしないことが最も大事です。国家があって国民がいるのではない。国民があって国家がある。」
俳優 菅原文太



南相馬市原町区錦町、県道12号線沿いの「九条看板」
戦いに行かせず自衛隊員の命を守ってきたのは、実は「憲法9条」ではなかったか。もしも改憲で「自衛隊」が明記されたら…

「あんなにも造作なくだまされるほど批判力を失い、思考力を失い、信念を失い、家畜的な盲従に自己の一切をゆだねるようになってしまった国民全体の文化的無気力、無自覚、無反省、無責任などが悪の本体なのである。「だまされていた」と言って平気でいられる国民なら、おそらく今後も何度もだまされるだろう。いや、現在でもすでに別のうそによってだまされ始めているにちがいない。」<映画監督の伊丹万作が80年前の敗戦直後に『映画春秋』で主張した言葉>

「戦争は私たちが被害者だけでなく加害者にもする。子どもや孫に戦争の悲しみを伝えたい。」
女優 樹木希林

「日本国憲法があったおかげで戦後71年間、日本人は1人も戦死せず、相手も戦死させなかった。」ジャーナリスト むのたけじ

強い王様を欲しがったカエルたち

《イソップ物語より》

森の中のカエルたちは神様に、自分たちの王様をお願いしました。すると木の板の王様を与えられましたが、黙って沼に浮かんでいるだけで気に入りません。カエルたちはもっと強い、命令する王様をお願いすると、神様は怒って水蛇をカエルの王様として与えました。しかしカエルたちは水蛇の王様に一匹残らず食べられてしまいました。



「声を上げる。上げ続ける。あきらめないで、がっかりしないで、根気よく、社会を変えるには結局、それしかないのだと思います。」
音楽家・俳優 坂本龍一

「憲法第9条こそが日本の安全保障である。」
作家 大江健三郎

「軍事に依らない国際貢献が大事で、自衛隊派遣など有害無益だ。憲法9条が我々の活動を守ってくれている。何万人もの犠牲の上に生まれた憲法9条こそ金字塔だ。九条を壊すことは日本の良心を壊すこと。」
医師 中村 哲

「ベトナム戦争や湾岸戦争に日本が武力攻撃に参加しなかったのは、9条に基づいて自衛隊の活動が制約された結果です。」
一橋大学名誉教授 渡辺 治

「憲法9条の一言一句も改正には反対だ。9条が日本の平和を守っているんだよ。」
自民党元幹事長 古賀 誠

「戦争を知っているやつがいるうちは日本は安心だ。戦争を知らない世代がこの国の中核になった時が怖い。」
元総理大臣 田中角栄

「憲法改正が日本の内政上の施策と考えるのは間違いで、アジア太平洋全域の国際秩序に重大な改変を加える行為だと、他国からは見えているとの自覚が必要です。」

東京大学教授 加藤陽子